

夏の福袋「じぶんのいっぽ〜ここから〜」展

『じぶん』を楽しもう！ 自分の動きを捉えて、感じて、楽しんで。次の「いっぽ」へ！

毎年、夏に開催される茅ヶ崎市美術館の教育普及事業の展覧会「夏の福袋」展。

今年は、最も身近だけれど、不思議な存在「じぶん」に目を向けて、楽しむ作品を紹介します。自分の心拍を、音や光に変えて、体験することのできる作品。自分の一歩によって光る石の作品。また、地元、茅ヶ崎の小学校から大学まで様々な学校と連携したワークショップによってつくられた、オリジナルの茅ヶ崎の地図など。子どもから大人まで、今の「じぶん」という存在を、新たな形で捉えて、感じて、楽しんで、次の「いっぽ」へとつながるような展開を試みます。

「美術館に行くのは初めて」というお子さんも、普段、あまり美術に馴染みがない方も、ぜひ、この機会に茅ヶ崎市美術館にお越しください。

■ みどころ

子どもも大人も何度も来て体験したくなるような仕掛けを持つ作品の展示を試みることで、夏に現れる1つの「居場所」を感じられるような展覧会を目指します。

■ 展示構成

体験型映像インスタレーション、地域の小学校との連携ワークショップの成果物展示。

■ 展覧会情報

夏の福袋「じぶんのいっぽ〜ここから〜」展

会期 2014年7月20日(日)～8月31日(日)

休館日 7月22日(火)、23日(水)、28日(月)、8月4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

観覧料 無料

会場 茅ヶ崎市美術館 展示室2・3

主催 夏の福袋実行委員会、公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

協力 茅ヶ崎市立緑が浜小学校、茅ヶ崎市立第一中学校、茅ヶ崎養護学校、文教大学国際学部井上ゼミナール、株式会社石川造園土木

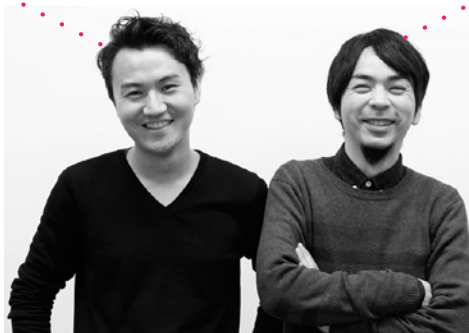
■ 同時開催

常設展「夏季収蔵作品展」 観覧料：一般200円 会場：展示室1 主催：公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

■ 作家プロフィール

■ 金箱 淳一 (KANEBAKO Junichi) ■

1984年長野県生まれ。岩手県立大学を卒業後、情報科学芸術大学院大学でギター玩具「Mountain Guitar」や振動を伝えるドラム「Vibracion Cajon」などの楽器とインタフェースに関する研究を行う。卒業後、玩具の企画開発会社を経て現在、女子美術大学アート・デザイン表現学科メディア表現領域助手。2013 Asia Digital Art Award エンターテインメント部門大賞をはじめ、受賞多数。東京都在住。



■ 首藤 圭介 (SHUTO Keisuke)

1978年大分県生まれ。日常に目を凝らし、何気なく存在する微細な事象を拾い上げ、ほんの少し手を加え、磨き上げ、制作を行っている。名古屋造形大学美術学科I類彫刻科卒業。同大学彫刻科助手、インテリアや店舗デザインなどの企画デザイン、女子美術大学助手を経て現在、女子美術大学非常勤講師。神奈川県在住。

夏の福袋「じぶんのいっぽ～ここから～」展

『じぶん』を楽しもう！ 自分の動きを捉えて、感じて、楽しんで。次の“いっぽ”へ！

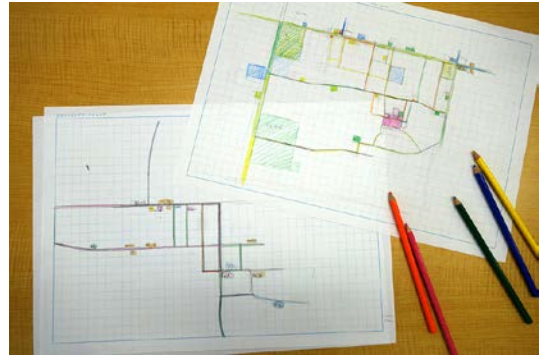
■ 出展作品 ①

作品タイトル：《自分マッピング》（自分地図）

作家名： far east method X 茅ヶ崎市内の
（首藤圭介 / 金箱淳一） 小・中・高等学校・大学

正確な地図は見ないで、自分が思う距離と大きさを地図を作るこのプロジェクト。1人の人間が足を使って道をとことこと歩く姿。バスに揺られ、時には居眠りをしながらも、いくつかの風景を認識している様子。友だちの家へ向かう道、サーフィンのため海へ向かう日々など。普通の地図では決して現われてくることのない、人が生きている道を感じてもらえる地図を、茅ヶ崎市内の教育機関と連携して作成しました。（現在進行形のプロジェクトです。6/7（土）、14（土）に学校でワークショップを実施します。取材ご希望の方は当館までご連絡ください。）

《自分マッピング》（My map）



《The Blink Stone》（光る石）

■ 出展作品 ②

作品タイトル：《The Blink Stone》（光る石）

作家名：far east method（首藤圭介 / 金箱淳一）

気が遠くなるような時間を経て形づくられた石。石には、人類の歴史はおろか、恐竜の記憶から私たち人間の記憶まで内包されているとすると、その時間軸の中では、私たちの一生はほんの一瞬といえるでしょう。そんな石を型どったこの作品は、太陽光によってエネルギーをため、私たちの踏みしめる一歩によって瞬間的に光る石です。この半永久に光り続ける石は、いまの私たちの立ち位置を示してくれるとともに、次の一歩を照らす光ともなってくれるかもしれません。

■ 出展作品 ③

作品タイトル：《one/2400000000》（24億分の1）

作家名：金箱淳一

普段無意識に行いながらも、人間にとってかけがえのない心拍を捉え直す装置であるこの作品。鑑賞者は、自分の心拍に連動して変化する万華鏡の映像を目で見て、心拍のテンポに応じて作り出される音楽を耳で聴き、寝転んだ床の振動を背中で捉えることができます。そのように自分が現在（いま）生きている証を、全身で体感していただけるでしょう。

※参照動画：http://www.kanejun.com/24bil_j.html

《one/2400000000》
（24億分の1）



夏の福袋「じぶんのいっぽ～ここから～」展

『じぶん』を楽しもう！ 自分の動きを捉えて、感じて、楽しんで。次の“いっぽ”へ！

■ 関連プログラム①

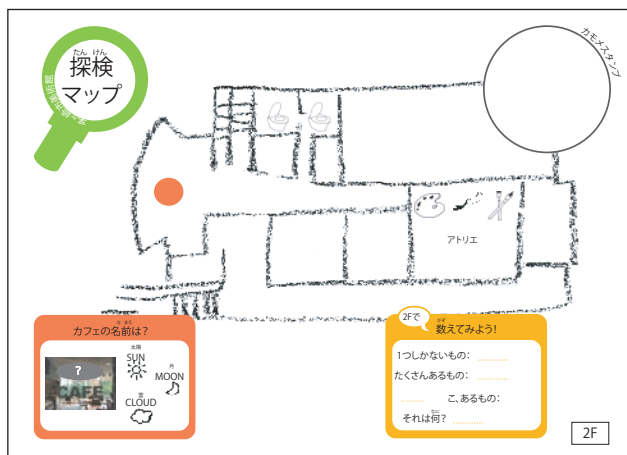
『美術館の謎をときあかせ！』

はじめのいっぽ！

茅ヶ崎市美術館に、はじめて来てくれる子を対象に、

探検マップを使って美術館をめぐるります！

このプログラムに参加すれば、君はもう美術館博士！



《探検マップ》



《カモメスタンプ》

日 時 2014年8月21日(木) 13:00～15:00

講 師 藤田百合(女子美術大学非常勤講師)、阿部祐子(文化学院大学非常勤講師)

定 員 16名

対 象 小学1年生～6年生まで(小学3年生までは、保護者による送迎をお願いします)

参加費 無料

会 場 茅ヶ崎市美術館

申込み 申込方法は4ページ下部に記載

■ 講師プロフィール

藤田 百合 (FUJITA Yuri)・・・女子美術大学非常勤講師。東京国立近代美術館 教育普及室での勤務を経て、現職。

阿部 祐子 (ABE Yuko)・・・文化学院大学非常勤講師。国立西洋美術館 教育普及室での勤務を経て、現職。

夏の福袋「じぶんのいっぽ〜ここから〜」展

『じぶん』を楽しもう！ 自分の動きを捉えて、感じて、楽しんで。次の“いっぽ”へ！

■ 関連プログラム②

『おもちゃで作るじぶんのモビール』

自分の宝物を蘇らせてみませんか？

昔使っていたおもちゃや、いま大切にしているおもちゃを、風に揺れて爽やかに動くモビールにします。思い出を思い返してみたり、今の自分を振り返ってみたり、そんな夏のひとときを一緒に過ごしませんか？



日 時 ①2014年7月25日(金) 13:00～15:00

②2014年7月30日(水) 13:00～15:00

講 師 張 雅美 (アーティスト)

定 員 ①、②ともに10名

対 象 ①、②ともに小学生から大人まで
(小学3年生までは保護者同伴をお願いします)

参加費 各回1,000円

持 物 おもちゃ3～8個
(ブロック、缶バッジ、ブローチなど。いずれもおおよそ20g以下のもの)
※糸を通して吊るため、1ミリ程度の穴をあけます。

会 場 茅ヶ崎市美術館 アトリエ

申込み 申込方法は下部に記載



《おもちゃモビール》

■ 講師プロフィール

張 雅美 (CHOH Ami)・・・1979年生まれ。美術館に勤務後、作家として本格的に活動をスタート。人工骨を使ったモビールなど、物と持ち主の密接な関係を活かし、使い道のない物を生命力溢れるものに蘇らせるような作品を制作している。神奈川県在住。

■ 関連プログラム申し込み方法

①ご希望のプログラム名と日時、②氏名(ふりがな)、③郵便番号と住所、④年齢、⑤電話番号をご記入の上、下記のいずれかの方法でお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。

○往復はがきの場合…〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北1-4-45 茅ヶ崎市美術館 まで

○直接来館の場合…返信用はがきをご持参の上、当館受付までお越しください。

○締め切り日…『おもちゃで作るじぶんのモビール』→2014年7月12日(土) 必着。美術館受付は同日17:30まで。

『美術館の謎をときあかせ!』→2014年8月3日(日) 必着。美術館受付は同日17:30まで。

■ 広報お問合せ先

茅ヶ崎市美術館 広報担当/〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北1-4-45

TEL: 0467-88-1177 / FAX: 0467-88-1201 / 池田 bijutsukan@chigasaki-arts.jp

<http://www.chigasaki-museum.jp>